



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年6月24日 第7号

校長 酒井 元治

この優しさに◎



左の写真、何をしているところかわかりますか？私は毎朝、通学路を回ったり、校門前に立ったりして子どもたちの登校の様子を見ているのですが、この写真のように校門前の信号機の押しボタンのところでしばらくきょろきょろする子を見ることがよくあります。これは、小学生だけでなく中学生もです。

小値賀で何年も暮らしていらっしゃるみなさんにご存じかもしれません。自分だけが渡るために青信号にするのではなく、だれか来る子はいないかを見て、次の集団が間に合う頃にボタンを押すのです。仲良しの友だちが遠くから来ているのを見て待っている子もいれば、特に仲良しでもない他の学年の子や中学生の姿を発見して待っている子もいます。1分ほど待っている子もいれば、雨の日にも待つ子

もいます。一度青信号になった直後は、次の青信号になるまでしばらくかかるためちょっと待って他の子と一緒に渡ろうという優しさ、朝バタバタと出勤や用事に行っていらっしゃる運転手の方々を自分一人のために止めてしまうのは忍びないという奥ゆかしさも感じ取ることができます。ひょっとすると、歴代の先生や地域の方のご指導が習慣として根付き残っているのかもしれません。

学校に入ってから先生方から指導されたというものでなく、きっと先輩のそういう姿を見て気に付けたものなのでしょう。これこそ伝統です。重々しく形づくって努力して伝える伝統もあれば、このように普段の仕草を引き継いでいくのも間違いなく伝統です。ずっと残ってほしい優しい伝統だと思います。

伝統のあいさつの島へ

こちら小値賀が誇る伝統、挨拶です。先日の代表委員会（3～6年生の学級代表で話し合う会議）で、子どもたちから「もっとよい学校になるように挨拶が必要。明るく元気な挨拶はされた方も気持ちがいい。」という理由から挨拶をもっとよくするためにはどうするかを話し合いました。結果は、奇数学年と偶数学年に分かれての挨拶運動をしようということになりました。そこで、こうやって朝から挨拶運動。すでに、中学生は4月からやっていたので、小・中合わせての挨拶運動です。



そういえば、先日テレビの取材班が学校にやってきてあちらこちらの学級を取材して回った時、「小値賀の自慢できる場所は？」との問いかけに何人もの子が「挨拶がいいところ」と答え、リポーターがさらに「知らない人とかにもするの？」と聞くと、「そんなの当たり前。」と胸を張って答える子どもたちでした。（この部分

は放映されるかな？放映は本日7時。）それでも、自分たちを振り返ると満点の挨拶ではないようで、全校挙げてがんばっています。

余談ですが、私は佐世保から島原までのウォークラリーに出場したことがあります。練習で佐世保から大村ぐらまで数回歩いたのですが、歩いてよくわかるのは、挨拶に地域性があること。自転車に乗っている高校生が見ず知らずの私たちに元気よく挨拶する地域もあれば、小学生に挨拶をしても返してこない地域もあります。小値賀の挨拶は昔から定評があります。「挨拶の島、小値賀」の伝統を引き継いでいきたいものです。

夏だ！プールだ！



今年は入学式から、運動会、そしてこのプール清掃まで天気に恵まれないことばかりですが、6月4日に保護者の皆様のお力を借りながらきれいなプールになりました。朝から小雨の降る中、デッキブラシや高圧洗浄機を使って、子どもたちが安全に泳ぐことのできるプールになりました。少し肌寒かったので、風邪をひいた方はいらっしゃいませんでしたか？

その後、水を張って20日(月)にプール開き。しかし、ご存じのように梅雨まった中。やっと昨日(23日)から泳ぐことができました。きれいになったプールで1・2年生は大はしゃぎ。「先生見て！見て！顔浸けられるよ。」

私がプール開きで話したことは、ちょうどこの日のニュースでサンフランシスコの9歳の男の子が3.2km離れたアルカトラズ島まで泳いだという話を挙げ「水泳は自分との戦い。去年の自分の記録を上回るようにがんばること。速く泳ぐのではなく、きれいに楽に泳げるようになること。そして、ときには自分の命を守るための大切な勉強であること。」を話しました。



サンフランシスコの9歳の子に負けないように、野崎島ぐらいまで泳げるようになってほしいものです。



野崎までがんばれ
小値賀っ子！

集会2つ

学校では、子どもたちが前に出ているいろいろなことを表現する自信、協力をして一つのものをつくるという達成感、また、授業だけではなく学校生活に変化と潤いを持たせるために、集会や学校行事を行っています。

6月4日～10日は「歯の衛生週間」。これにちなんで、すこやか委員会で「歯の集会」を行いました。委員会のみんなで劇をしたり、クイズをしたり。見ている子どもたちも楽しそうに歯の衛生について学習することができました。委員会の子どもたちが堂々と「ミュータンス君」を演じたり、クイズの司会をやっていたりするのもいい体験の場です。また、見ている低学年にはこの堂々とした態度がお手本になっていきます。

こちらは音楽集会。全校児童が「ピクニック」を歌っている様子です。最初は



学年ごとに、ヤギやアヒルの鳴き声を担当。2回目の鳴き声担当は1・2年生です。張り切って「メェ〜」「ワン、ワン!」「ブ〜、ブ〜」。楽しい時間から1日が始まるのはいいものです。また、1つの曲をみんなで声を合わせて歌うところにハーモニーをつくる良さがあります。

ぼくらミュータンス菌は
歯ブラシキライ！



お願い

この学校だよりもそうですが、学校には今回のようにTVの取材や新聞社の取材があり子どもたちの顔がネットや画像として広く社会に流れます。今回のTVは全国放送です。様々な理由により、お子さんの出演を控えてほしいというご家庭がありましたら、担任までお伝えいただければ幸いです。